

練馬労連主催平和ツアー

『脱原発と温泉の旅』

日時：6/30(土)～7/1(日)

場所：福島県沿岸部方面

練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合
練馬区中村北1-6-2
東京土建練馬支部内
電話03-3825-7146
fax 03-3825-7117



見事に並んだ要求の浮かんだ大根！
要求実現に向けて力を合わせよう！

雇用と暮らしを守ろう！ 第13回世直したいぞん行進開催

今こそ世直し 負けてたまるか！

4月22日(日)、うーの6本を掲げ、練馬、大泉、平和台、光が丘周回の4コースから、集結集会の会場である、光が丘春の風公園を目的地として、パレードを行ないました。

各コースの先頭には、街宣車がシユプレヒコール、「賃上げで雇用を守ろう！」「社会

絶対反対！ 人のいのちを奪う政策 消費税増税

税と社会保障の一体改革
子ども子育て新システム
年金受給年齢の引き上げ
原発推進 など

保障の改悪は許さないぞ！」「JALは不当解雇撤回しろ！」など力強くコールしました。その後を、練馬、光が丘、大泉の各コースでは、荒馬座の元気でリズムカルな太鼓、賑やかに響き渡る半鐘、そして、祭囃子には欠かせない、すどい横笛の音が、隊列を先導し、平和台コースは、お馴染みの江戸屋小春さん率いるチンドンが、昔懐かしい

クラリネットの音と、絶妙に絡み合う太鼓と半鐘の音で、パレードに彩りを添えました。隊列の面々は、様々な工夫を凝らした、デコレーションで沿道を練り歩きました。特に、練馬大根をモチーフにしたものや、ブルトニウムマンなど反原発をテーマにしたもの、メイドさんに扮したお母さんたちが目を引きました。ベテランの参加者は、「安心できる年金を保証しろ！」「上がってほしい手間賃 下がってほしい消費税！」

「保育園職場の民間委託 反対！無責任な民営化反対！」など身近な問題を訴えました。パレードには子どもたちも加わり、「消費税増税反対！」或いは、「社会保障の拡充」と書かれたプラカードを持ち、男の子は得意そうな顔つきで、女の子は真剣な表情を浮かべて行進していました。地元の方々は、「がんばれ！」「俺もそう思ってるよ！」「しっかり歩け！応援してるぞ」など、声援を送ってくれます。

元住民と一体感を作っているという特徴があります。集結集会では、荒馬座の演奏に始まり、練馬区労協の高橋さんが「皆さん、ともに頑張りましょう」と開会挨拶をし、続いて東京春闘共闘会議議長の伊藤潤一さんが、「厳しい情勢の中一致団結 協力・共同し最後まで闘い抜きましょう」と会場を埋めた参加者にエールを送りました。また日本共産党からもご挨拶を頂きました。

「保育園職場の民間委託 反対！無責任な民営化反対！」など身近な問題を訴えました。パレードには子どもたちも加わり、「消費税増税反対！」或いは、「社会保障の拡充」と書かれたプラカードを持ち、男の子は得意そうな顔つきで、女の子は真剣な表情を浮かべて行進していました。地元の方々は、「がんばれ！」「俺もそう思ってるよ！」「しっかり歩け！応援してるぞ」など、声援を送ってくれます。

このパレードは、参加者が地元の方々に、区民の要求をアピールすることのみならず、パレードすることによって地

闘いの報告は、練馬社保協、東京土建練馬支部、練馬区職労、練馬平和委員会からありました。続いて、おまちなかの仮装デコレーションの表彰が、練馬春闘共闘事務局長の松沢さんによって行なわれ、会場はアツトホームな雰囲気包まれました。集会アピールは、東京芸術座の小田原さんにより読み上げられ、日本の未来と平和を守るため、「この正念場を、区民と共に全力を尽くして闘い抜くことを確認しました。最後に、都教組練馬支部の佐藤先生により、参加者全員で「団結頑張り」を三唱し、集会は大成しました。

集会は大成しました。



祝第83回中央メーデー

「働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義 中立の日本をめざそう」
2012.5.1



練馬からの参加者の皆さんは笑顔全開でした

5月1日、消費税増税、TPP参加、税と社会保障の一体改革、子ども子育て新システムなど、弱いものいじめの政策ばかりが出されるなか、第83回メーデーが開催されました。参加者は全体で、2万1千人との主催者発表がありました。
練馬春闘共闘からの参加者は、石原都政が都庁労働者・教員のメーデー参加職免をついに取り上げたこともあり、参加者の数は激減し30名を下まわるほどとなりました。私達は今こそ、この厳しい現実をしつかりと、受け止め、先輩達が、命をかけて勝ち取ってきた我々の権利を取り返すために、今一度原点に立ち返り、共に頑張っ参りましよう。

憲法ウィーク

「憲法と相容れない現実」こそ変革を!

4月28日	沖縄デー	1952年4月28日安保条約締結で沖縄が米軍統治下に。沖縄に基地負担を押しつける「安保条約」は憲法と相容れない!野田政権は、「日米共同声明」を沖縄の頭越しに締結。「動的防衛協力」に踏み出す危険な動きにストップを。
5月1日	メーデー	労働者の権利は守られているのか。都労連傘下の組合は、今年から「メーデー職免」が剥奪。そのためか練馬隊列は、大きく減少。労働者の権利を尊重しない政治は、憲法と相容れない!それを押し返すためにも、練馬労連の大きな前進を!
5月3日	憲法記念日	練馬駅前での「リレートーク」そして日比谷公会堂での憲法集会。雨天にも関わらず、2600人の参加。「原発と憲法は両立しえない」ことが参加者の新たな認識になりました。憲法は政権への「命令書」。これを逆転させる改憲の動きに要警戒、反対の取り組みを!
5月5日	子どもの日	この日は、歴史的な「子どもの日」となりました。北海道泊原発がトマリ、原発「稼働ゼロ」が実現!練馬駅前「さよなら原発・キャンドルナイト」にのべ400人。「稼働ゼロ」から「原発ゼロ」へ新たなスタートの日となりました!

今こそ憲法の出番

憲法13条【個人の尊重・幸福追求権】
 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

憲法25条【生存権】
 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障および公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

上記の見出しと憲法条文の紹介は、東京新聞5月3日号の一面です。「被災地 幸福追求・生存権どこへ」「原発は違憲」との見出しも躍っています。
 情勢は大きく前進しています。まさしく憲法の原点に戻って、私たち労働者「主権者」を尊重する政治を実現してこそまっとうな社会になるのだということです。頑張りましよう!!

